

真和志小学校校歌

作詞 上原 晃 (昭和7年)
補修 真和志小学校 (昭和30年)
作曲 宮良 長包 (沖縄師範教諭)

♩ = 100



1. みよしゆれのいぐすくだけ なにおうもりのしきなえん
2. ぶんかのうしおとどろきて いのちはおどるわしのごと

そのふところに なごみつつ ゆたかにみゆる へいげんの
まことのみちを もとめつつ れきしはえある そのむかし

さーとのまなかに うつくしく いらかもたかし まわしこう
のぞみにも一えて ひらきたる わががくえんに ちからあれ

一、見よ秀麗の 城岳

名に負う森の 識名園
そのふところに 和みつつ

豊に稔る 平原の
里の真中に 美しく
いらかも高し 真和志校

二、文化の潮 とどろきて

生命はおどる 鷺のごと
真の道を 求めつつ
歴史栄ある その昔
大志にもえて 開きたる
我が学園に 力あれ

三、朝日直射す 真和志高原

清き泉の よどみなく
学びの海に 棹さして
げにげに励み 励みあい
理想の岸へ 進み行く
わが学園に 光あれ

四、和敬に充ちて 集いよる

学びの友よ いざはげめ
人材数多 世にいでよ
共に育たん 雄叫びは
大石森に こだまして
栄え永久なる 真和志校